

継続的な安全性向上に関する検討チーム
(第8回会合)

議事次第

1. 日時 令和3年3月5日(金) 10:00~12:00

2. 場所 原子力規制委員会 13階A会議室

3. 議題

○継続的安全性向上を進める上での規制機関の在り方

4. 資料

資料1 継続的安全性向上を進める上で、規制機関の組織はどうあるべきか
～議論の素材としての「振り返り」～

資料2 アクシデントマネジメント・確率論的リスク評価に係る日米の主要な
時系列 【更田委員長、市村 原子力規制部長】

資料3 原子力規制委員会の設置をめぐる議論(特に、行政委員会(いわゆる
三条委員会)制度の選択)を振り返る 【荻野 長官】

資料4 プラント側審査における事業者との議論例 ～審査現場における規
制側と事業者のコミュニケーション～ 【正岡 管理官補佐】

資料5 経営層(CEO)との対話の場での問いかけや提案の例【堤 課長補佐】

資料6 「欠落」や「新たな知見」に向き合う事業者を育てるための規制当局
のあり方に関する試論 【亀井委員】

(参考1) 第7回会合「原子力規制の在り方について」から得られた学び
【谷川 原子力規制専門職】

(参考2) 第7回会合での主な発言の整理

継続的な安全性向上に関する検討チーム（第8回） 出席者

【原子力規制委員会】

更田 豊志 原子力規制委員会委員長
伴 信彦 原子力規制委員会委員

【外部専門家】（五十音順、敬称略）

板垣 勝彦 横浜国立大学大学院国際社会科学研究院 准教授
大屋 雄裕 慶應義塾大学法学部 教授
勝田 忠広 明治大学法学部 教授
亀井善太郎 PHP 総研 主席研究員
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科 特任教授
関村 直人 国立大学法人東京大学 副学長
大学院工学系研究科原子力国際専攻 教授
山本 章夫 国立大学法人名古屋大学大学院工学研究科 教授

【原子力規制庁職員】

荻野 徹 長官
金子 修一 長官官房審議官
市村 知也 原子力規制部長
黒川陽一郎 長官官房政策立案参事官
柴田 延明 長官官房法務部門参事官補佐
平野 雅司 長官官房技術基盤グループ技術基盤課技術参与（安全研究）
堤 達平 長官官房放射線防護グループ監視情報課課長補佐
西崎 崇徳 原子力規制部原子力規制企画課企画官
谷川 泰淳 原子力規制部原子力規制企画課原子力規制専門職
正岡 秀章 原子力規制部審査グループ実用炉審査部門管理官補佐（総括担当）